

## 第8章

# 廃棄物



## 第8章 廃棄物

### 1. ごみの状況

令和元年度のし尿を除く一般廃棄物の総処理量は 19,314t(家庭系ごみ量 15,023t・事業系ごみ量 4,291t)で、家庭系ごみ量を市民1人1日当たりに換算すると約 530gになります。

総排出量を収集区分別に見ると、家庭系燃やすごみ量は 12,177t(焼却残渣含)、資源ごみ量は 1,721t、粗大ごみ量は 1,125tでした。(ごみ量は四捨五入)。

臨時ごみの申し込み件数は、451 件でした。また、特別有料品目の持込みは 74 件でした。

令和元年度の戸別収集サービスでは、ホームヘルパーを利用されている 1 人暮らしで、自らごみを排出場所まで持って行く事が困難な方向けのまごころダイレクト収集は 70 人、訪問診察や訪問看護、訪問介護を受けており、ご自宅で治療をしておられる方で、プライバシー保護などが必要な在宅医療廃棄物の収集では 6 人が利用されました。

今後も、4Rの推進の啓発に取り組みつつ、廃棄物の適正な処分を進めてまいります。

#### (1) 収集と処理

- 一般家庭から出る燃やすごみは、週 2 回収集を行いました。
- ペットボトル・プラスチック製容器包装(以下「廃プラ」という。)は、週1回収集を行いました。
- 蛍光灯・小型家電は拠点回収を行いました。
- 古紙(新聞・雑誌・ダンボール等)及び缶・ビン・乾電池の資源ごみは、月1回収集し、牛乳パックは、交野市日中活動系事業所連絡会の協力による拠点回収により、資源化しました。
- 粗大ごみは無料のものと有料のものを併せて月5点以内を電話申し込みにより戸別収集を行いました。
- 燃やすごみ・中間処理施設の可燃残渣・し尿処理施設のし尿及び粗大ごみから選別破碎した可燃物は焼却しました。
- 資源ごみ及び粗大ごみは中間処理施設で廃プラや金属類などを可能な限り再資源化を行い、その他の可燃物や残渣は焼却減容化し、焼却灰として大阪湾広域臨海整備センター等で最終処分を行いました。

#### ◆人口とごみ処理量の推移(燃やすごみには焼却し渣・残渣を含む)

年 度	29 年度 9 月まで	29 年度 10 月から	29 年度	30 年度	R1 年度
人 口	77,816 人			77,834 人	77,588 人
燃やすごみ (普通ごみ)	5,670 t	5,557 t	11,227 t	11,990 t	12,177 t
資源ごみ	887 t	786 t	1,673 t	1,740 t	1,721 t
粗大ごみ (不燃粗大ごみ)	431 t	149 t	580 t	998 t	1,125 t
(可燃粗大ごみ)	1300 t	0 t	1300 t		
事業系ごみ	2,004 t	1,873 t	3,877 t	3,869 t	4,291 t
合 計	10,292 t	8,364 t	18,656 t	18,597 t	19,314 t

※表の数値は端数処理を行っています。

(2)資源ごみの処理

○廃プラは、交野市・枚方市・寝屋川市・四條畷市で運営する北河内4市リサイクルプラザで選別・圧縮梱包等の中間処理を行い、再資源化を行いました。

◆廃プラ・ペットボトルの処理量の推移

年度	29年度	30年度	R1年度
ペットボトル	79,340 kg	71,280 kg	72,780 kg
プラスチック製容器包装	981,660 kg	896,420 kg	880,340 kg
合計	1,061,000 kg	967,700 kg	953,120 kg

○缶・ビン は四交クリーンセンターで資源ごみとして選別・圧縮梱包の中間処理を行ったほか、乾電池と拠点回収した蛍光灯は四交クリーンセンターで一時保管し、再生処理事業者で、再資源化を行いました。

◆缶・ビン・乾電池・蛍光灯の資源化量の推移

年度	29年度	30年度	R1年度
アルミ缶	30,304 kg	33,952 kg	37,801 kg
スチール缶	36,322 kg	63,599 kg	60,870 kg
無色ビン	40,032 kg	123,910 kg	106,179 kg
茶色ビン	53,382 kg	93,141 kg	88,392 kg
その他ビン	12,465 kg	70,736 kg	67,083 kg
乾電池等	11,610 kg	16,464 kg	15,430 kg
蛍光灯	8,310 kg	7,118 kg	4,856 kg
合計	192,425 kg	408,920 kg	380,611 kg

○古紙及び拠点回収した牛乳パック、ダンボール、小型家電は直接再生処理事業者で、再資源化を行いました。

◆古紙・牛乳パック・ダンボールの量の推移

年度	29年度	30年度	R1年度
古紙	364,340 kg	334,060 kg	343,160 kg
牛乳パック	10,680 kg	9,310 kg	8,940 kg
ダンボール	400 kg	120 kg	170 kg
小型家電	1,500 kg	20,159 kg	34,779 kg
合計	376,920 kg	363,649 kg	387,049 kg

(3)交野市ごみ減量化・リサイクル推進市民会議(4R市民会議)

ごみ減量・リサイクル推進に対する市民意識の向上と、良好な生活環境づくりを協議し、その実践活動を通して「環境にやさしい交野」の育成と4Rの推進に取り組む団体として、区長会を中心に組織され、「ごみの4R運動」や「レジ袋の削減」などを提唱し、各地域でのごみの排出マナーや意識高揚の啓発活動を行っています。

(主な事業活動)

- 1) 集団回収活動実態調査
- 2) マイバッグキャンペーン
- 3) ごみ処理現状把握のための施設見学



◆**集団回収実態調査結果の推移**

年 度	29 年度	30 年度	R1 年度
古布・古着	91,674 kg	101,199 kg	72,297 kg
ダンボール	229,280 kg	174,690 kg	160,197 kg
新聞・雑誌	999,775 kg	860,655 kg	857,002 kg
紙パック	2,530 kg	2,477 kg	2,494 kg
アルミ缶	23,300 kg	22,599 kg	22,427 kg
スチール缶	1,114 kg	2,400 kg	2,630 kg
合 計	1,347,673 kg	1,164,020 kg	1,117,047 kg

(4) 廃油回収

交野市消費生活問題研究会が主体となって、各地域で偶数月の第3土曜日に、家庭から出る廃食用油の回収を行いました。

◆**廃油回収量の推移**

年 度	29 年度	30 年度	R1 年度
廃 油	2,900 ㍓	2,900 ㍓	2,900 ㍓

2. し尿の状況

し尿収集運搬業務は、計画的な収集日程に基づき、2ヶ月に3回、委託した4業者による収集を行いました。規制緩和による下水道指定業者の増加と公共下水の推進により、水洗切り替えを進めています。

令和2年3月末現在、し尿汲み取り人口は772人(432世帯)で総人口に占める割合は1.0%、浄化槽人口は3,698人(1,531世帯)で総人口に占める割合は4.8%となっています。

◆**し尿処理量の推移**

年 度	29 年度	30 年度	R1 年度
生し尿	3,067.1 k㍓	3,066.0 k㍓	3,359.6 k㍓
浄化槽汚泥	2,739.5 k㍓	2,693.5 k㍓	2,654.8 k㍓